

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和05年06月09日(金)

事務事業		青少年活動団体等補助事業		担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	30131	
総合計画	大項目	1	健康でいきいきと暮らせるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	健やかに成長できるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市補助金等の交付に関する規則					
	小項目	3	青少年の健全育成の推進							
	主要プロジェクト									
事業概要		深谷市内の子ども会活動の充実を図るため、深谷市子ども会育成連合会に補助金を交付するものである。また、青少年の社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能体得のため活動するボーイスカウト及びガールスカウトへの活動支援として補助金を交付するものである。青少年の健全な育成に資する事業や活動を行う機関又は団体と連携を図るなどの活動をする青少年相談員協議会に補助金を交付するものである。								
目的 ※何のために		社会生活に必要な知識、徳性を養い、もって青少年の健全育成に寄与することを目的とする。								
対象 ※誰・何を対象に		深谷市子ども会育成連合会・ボーイスカウト深谷第1団・ボーイスカウト深谷第2団・ガールスカウト日本連盟埼玉県第58団・深谷市青少年相談員協議会								
手段 ※どのように		補助金を支出する。								
成果 ※何を求めるか		青少年の健全な育成のために活動する団体の事業を充実させる。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	1	社会教育総務費	青少年活動団体補助事業	390,000
本事業の 主な業務		・ 深谷市子ども会育成連合会事業補助金交付					・			
		・ 深谷市ボーイスカウト・ガールスカウト育成事業補助金交付					・			
		・ 深谷市青少年相談員協議会補助金交付					・			
		・					・			
		・					・			
		・					・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
年度別計画		補助金の支出	補助金の支出	補助金の支出			
事業費	予算(現額)	890,000	890,000	890,000	890,000		
	決算額	311,000	390,000	0	0		
	財源内訳	国支出金	0	0	0		
		県支出金	0	0	0		
		地方債	0	0	0		
		他特定財源	0	0	0		
		一般財源	311,000	390,000	890,000	890,000	
人件費	従事職員数(人)	0.11	0.13	0.13	0.13		
	人件費相当試算※	853,811	1,023,042	1,065,530	1,065,530		
総事業費試算		1,164,811	1,413,042	1,955,530	1,955,530		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	補助金交付団体数		目標値	団体	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
			実績値		4.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			平成29年度の団体数を基準とし設定した						
	実績値の算出式									
活動指標 2	補助金交付総額		目標値	千円						
			実績値		390.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 決算資料						
	実績値の算出式									
成果指標 1	補助金交付団体の構成員数合計		目標値	人						
			実績値		5,967.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません / 補助金交付団体の構成員数						
	実績値の算出式									
成果指標 2	補助金交付団体の総活動回数		目標値	回						
			実績値		145.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません						
	実績値の算出式									
成果指標 3	補助金交付団体の総活動参加者数		目標値	人						
			実績値		3,306.00					
	目標値の算定根拠/実績値の出所			目標設定することができないため設定していません						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移	
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	地域の青少年健全育成活動に貢献する団体に補助金を支出し、青少年の健全な育成に資する事業や活動を行う機関や団体の支援が行えた。	
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	新型コロナウイルス感染症により活動が制限される中ではあったが、実施方法を工夫することにより前年より活動を増やすことができた。	
			評価者	こども青少年政策係長 飯村 啓史

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由	
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	各団体と緊密に連絡し、効率的に補助金の申請受付、交付、精算を行うことができた。	
			評価者	こども青少年政策係長 飯村 啓史

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和3年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	青少年活動団体等補助事業	担当課	こども青少年課	担当係	こども青少年政策係	管理番号	30131
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>補助金を交付している5団体は、青少年健全育成を目的とした様々な活動を行っている団体であり、今後も青少年の健全育成を目的に支援が必要である。</div>					
<div>上記を実施するための具体的な取組内容は？</div>		<div>評価者</div> <div>こども青少年課長 美野田 芳二</div>					

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和5年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	団体の活動を広報ふかや等に掲載するなど団体の周知に協力し、団体を側面的に支援していく。
令和6年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

